



かいた病院だより

第4号

発行 本田宜久
編集 広報委員会
連絡先 TEL 09496-2-2131

「往診への取り組みについて」

内科医師 大杉泰弘



穎田病院家庭医療・内科の大杉泰弘です。

「在宅医療」って知っていますか？難しい言葉になっていますが、昔でいう「往診」のことです。最近再び注目されてきています。

実は、驚かれるかもしれませんが、全てではないものの、穎田病院でおこなっている医療のある程度のことは、在宅医療で同じように行うことができると考えています。100歳で元気に一人暮らしをされている方、がんの末期でご自宅で療養されている方、骨折のリハビリ中の方、いろいろな方のご自宅に伺わせていただいています。

私もご自宅に伺うのですから、緊張もしますが、また逆に患者さんの普段の生活の場を知ることができ、具体的に普段の生活で何に困っていることを知り、より良い医療をすることができる事もあります。

私たちが入院中の患者さんから最も聞くお話は、なんといっても「家に帰りたい！」です。みなさんがおっしゃいます。私たちは、病気を治すことだけでなく、そのお気持ちをなんとか実現に近づけることが、私たちの目指す医療だと考えています。そのためにも、訪問看護、訪問リハビリテーション、そして訪問診療があり、連携して在宅医療を行っています。

もし、在宅医療についてお聞きになりたいことがあれば、スタッフにお声をおかけください。



往診風景（写真左）と往診車（写真下）

※患者さん、ご家族には穎田病院の診療活動の紹介で写真を使うことを承諾いただいています。



シリーズ 語る 第4弾

“入院患者さんの褥瘡対策について”

穎田病院での取り組み

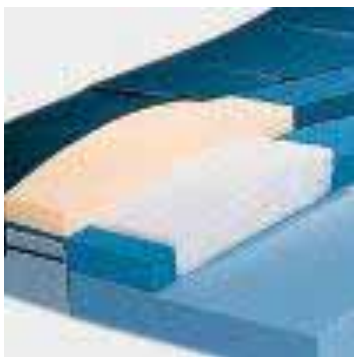
今回は、“褥瘡（床ずれ）がしやすい人はどんな人？”、“穎田病院ではどのような予防・対策を行っている”かをご紹介します。

患者さんの入院時に、褥瘡評価表Ⅰという書類に、入院を受け持った看護師が所見を記入します。その内容を簡単に説明しますと、

- ・自立体位変換→自分の力で身体の向きを変えることができるか
- ・浮腫の有無→いわゆる“むくみ”のことで、皮下組織内に液体(組織間液)が溜まった状態。
- ・関節拘縮の有無→関節に原因がなくて、関節が動かなくなる状態
- ・血液検査で貧血やタンパク不足がないか
- ・仙骨部体圧→おしりの部分にかかる圧力
- ・BMI→肥満度を表す指数

以上のような評価を行うことで、褥瘡ができる危険性を把握します。

危険性が高いと判断された患者さんや、すでに褥瘡のある患者さんに対しては写真のような、体圧分散式マットレスや圧切替型エアマットレスを使用します。これらのマットレスは、患者さんが寝ていてベッドから受ける圧力を散らしたり、一定時間内で空気の入りを変えて患者さんの姿勢をかえることで褥瘡を予防します。これらのマットは在宅医療で使われることもあります。



また、自分で体位変換ができない患者さんに対しては、2時間ごとに看護師や看護助手が体位変換を行ったり、褥瘡の好発部位の除圧（浮かしたりする）を行っています。

褥瘡回診

穎田病院では、医師1名、看護師4名による褥瘡対策チームを編成しています。週1回チームによる病棟回診を行い、褥瘡の早期発見や、治療に対する効果の確認などを行っています。

文責 褥瘡対策チーム 永嶋 智美

次回は、褥瘡の治療についてお知らせします。

院内ウォーキング



額田病院のここが知りたい!

リハビリとは、失った身体機能と社会適応能力の回復を目指すものです。そして、リハビリの中でも目的に合わせた治療を行う為、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と3つの職種に分かれています。

今回は、言語聴覚士について紹介したいと思います!!!

言語聴覚士とは・・・

言語聴覚士の仕事は、コミュニケーションと食事に障害がある方の手助けをすることです。

私たちは、“ことば”によってお互いの考えや気持ちを伝え合い、意志疎通を図ります。経験や知識を教習する為に大切な手段の一つです。コミュニケーションの問題は、脳卒中後の失語症・ことばの発達の遅れなど、小児から高齢者まで広い分野で携わっています。

言語聴覚士は専門的な技能のもとに、言語・聴覚・コミュニケーションの問題を抱えている方に対して、治療・訓練を行い、社会参加の為に、支援を行います。具体的には、右上の写真のように言葉が出にくい患者さんに対してカードを使って文字や絵の名称を呼んでもらったり、左下の写真では飲み込みが困難な患者さんに対して、むせないような飲み方・食べ方の指導を行っています。



最終的な目的としては、患者さん一人一人の生活の質（QOL）を高める事や、社会参加の為に携わっていきます。そして、障害がある方だけでなく、周りのご家族の方々にもアドバイスを行っていきます。言葉や、聞こえ、飲み込みに対してお悩みの事があれば、お気軽にご相談下さい。

文責 言語聴覚士 香月裕加

時事通信

テーマ：花粉症について

花粉症の原因は？

人間の体には、体内に侵入しようとした外敵を取り除こうとする働きが備わっています。例えば、鼻水で洗い流そうとしたり、くしゃみで外に吹き飛ばそうとしたり。ただ、人によっては、ある特定の異物に入っただけで、この働きがいき過ぎて過剰な反応（アレルギー反応）を起こします。花粉症は、からだに侵入した花粉を、敵と認めて反応してしまう過敏な体質の人に起こるのです。毎年この時期になると目がかゆい、鼻水が出る、何となく体がだるい、集中力がなくなるなどの症状でお悩みの方も多と思います。

花粉症の予防は？

花粉症の予防法としては、『風の強い晴れた日は、外出を控えめする』（特に、昼前から午後3時頃までが花粉の飛ぶピークです）、花粉の侵入を防ぐため、『マスク、スカーフ、帽子を着用する』、家に入る前は玄関先で、『衣服や髪、持ち物についた花粉をはらう』、帰ったら、『手・顔・目・鼻を洗い、うがいをする』などが効果的です。もちろん、これらの方法でも症状が治まらない場合には抗アレルギー剤などで症状を緩和することもできますので、お気軽にご相談ください。



内科 六反田 諒

診療科のご案内

診療時間 午前8:30～午後5:00(月曜から金曜)
 午前8:30～午後0:30(土曜)
 受付時間 午前8:30～11:30、午後1:00～4:30(月曜から金曜)
 午前8:30～11:30(土曜)

	月	火	水	木	金	土
内科 8:30～12:30 14:00～17:00	本田 大杉 渋谷	吉田 安藤／尾田 小山	茂木 渋谷 萬代(第2週)	本田 小田／檜田 藤井	本田 井村 六反田	当番制
整形外科 14:30～16:30		非常勤 (飯塚病院)	非常勤 (飯塚病院)		非常勤 (飯塚病院)	
外科 8:30～12:30	長家					
耳鼻科 8:30～12:30		非常勤 (九大)			非常勤 (九大)	
眼科 13:00～17:30			非常勤 (福大)			

平成22年2月現在

〜編集後記〜
 朝晩は若干寒さが残るものの、日中は気温も徐々に上がって、春の到来を感じる今日この頃です。
 ここちよい風を感じると同時に、花粉症の季節も始まっているようです。インフルエンザの流行で手放せなくなったマスクも、まだまだ活躍していくことでしょう。
 さて新型インフルエンザの流行が落ち着きつつある最近、皆さん手洗いやうがいを怠っていませんか？まだまだ、気を抜かずに健康管理には気をつけましょう。
 (広報委員会)

<お問い合わせ先>

医療法人博愛会 穎田病院

住所 福岡県飯塚市口原 1061-1

電話番号 09496-2-2131 (代表)